







# 217号隊舎屋上物干場改修工事

件名	217号隊舎屋上物干場改修工事						
図面名称	表紙			仕様書番号		23	
作成年月日			令和3年7月26日		図面番号	1/6	
業務隊長	管理科長	営繕班長	施設管理主任	管財係			設計
							
所属部隊		久留米駐屯地業務隊管理科					

# 仕 様 書

1 件 名 : 217号隊舎屋上物干場改修工事

2 場 所 : 福岡県久留米市国分町100番地 陸上自衛隊久留米駐屯地

## 3 概 要

- (1) 物干場増設 3m×3m 12区画
- (2) ネットフェンス新設 H=1.5m 忍び返し付 17.6m
- (3) 片開き門扉新設 W=1.0m 1基

## 4 一般事項

- (1) 本工事は本仕様書のほか、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」、「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」その他関係諸法規を遵守し、実施するものとする。
- (2) 本工事の写真は、カメラ（カラー）又はデジタルカメラを使用し、作業前・中（各工程毎）・後、隠蔽箇所及び材料・機材等、監督官の指示する箇所を撮影し、工事用アルバム（A列4番縦）に整理のうえ、監督官に1部提出すること。ネガ又はデジタルカメラの電子データは、完成検査終了後、請負業者の責任において確実に処分又は消去すること。
- (3) 施工中、他の箇所に汚損又は破損等を及ぼした場合は、速やかに監督官に報告するとともに請負業者の責任において速やかに原状復旧するものとする。
- (4) 本工事に使用する材料は全て新品とし、監督官の検査を受け、合格したものを使用する。
- (5) 本仕様書に記載なき事項といえども施工上当然必要とされる事項については請負者の責任において実施すること。
- (6) 作業中の安全管理には十分留意し、事故等が発生しないよう万全を期すこと。万一事故等が発生した場合は請負業者の責任において処置し、官側は一切の責任を負わないものとする。
- (7) 本仕様書及び作業に際し疑義を生じた場合は、監督官と協議した後実施する。
- (8) 本工事において使用する電気、水は請負業者が準備するものとする。やむを得ず部隊側の電気、水を使用する場合は、事前に監督官と協議した後、所要の手続きを実施し使用することが出来るが、使用に要した費用については請負業者の負担とする。
- (9) 工事受注に際しては、受注者が下請業者と工事下請負契約を締結し工事を施工完成させる場合は、監督官に施工管理体制台帳を提出し点検を受けるものとする。

## 5 特記事項

### (1) 仮設工事

- ア 作業用通路は、1階～5階まではエレベーター使用可能とし、6階～8階及び屋上へは中央階段を使用するものとする。
- イ 屋上（屋上パラペット天端2.9m）への資材等の搬入については、受注者の計画により適正な揚重機等を用いるものとする。

### (2) 鉄筋工

- ア 鉄筋は、片開き門扉基礎コンクリート部に使用するものとする。
- イ 鉄筋は、図面に示す寸法及び形状に合わせ、常温で正しく加工して組み立てる。
- ウ 有害な曲がり、損傷等のある鉄筋は使用しない。
- エ 鉄筋の切断は、シヤーカッター等により行う。
- オ 鉄筋は、鉄筋継手部分及び交差部の所要を径0.8mm以上の鉄線で結束し、適切な位置にスペーサー、吊金物等を使用して、堅固に組み立てる。

### (3) コンクリート工

- ア 物干場及びフェンス基礎ブロックについては、既製品の基礎ブロック使用又はレディーミクストコンクリートを打設するものとし、受注者の計画による。なお、既製品の基礎ブロックを使用する場合は、屋上床面勾配に合わせ、モルタル等を使用し基礎ブロックを水平に設置するものとする。
- イ 物干場及びフェンス基礎ブロックは無筋コンクリートとし、設計基準強度18N/mm<sup>2</sup>、スランプ15cm、骨材20mmとする。

### (4) 物干場

物干場の仕様は、図面に基づくものとし、事前に承認図等を提出し監督官の承認を得るものとする。

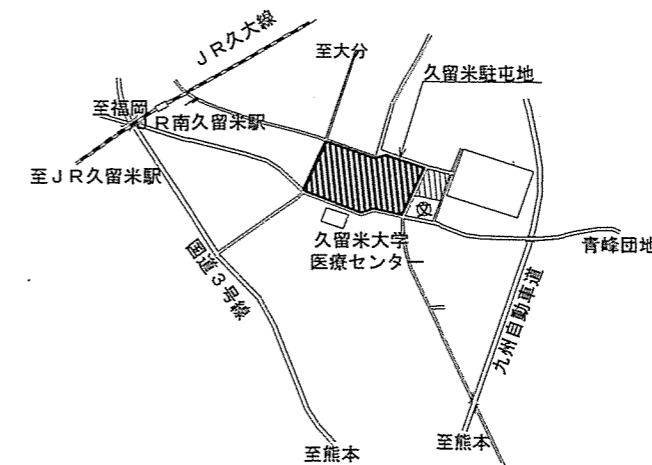
### (5) フェンス・門扉

ア フェンス及び門扉の仕様は以下に示すとおりとし、朝日スチール工業製PCフェンス・門扉又はJFE建材製ニューラウンドフェンス・門扉同等品以上のものとし、事前にカタログ、承認図等を提出し監督官の承認を得るものとする。

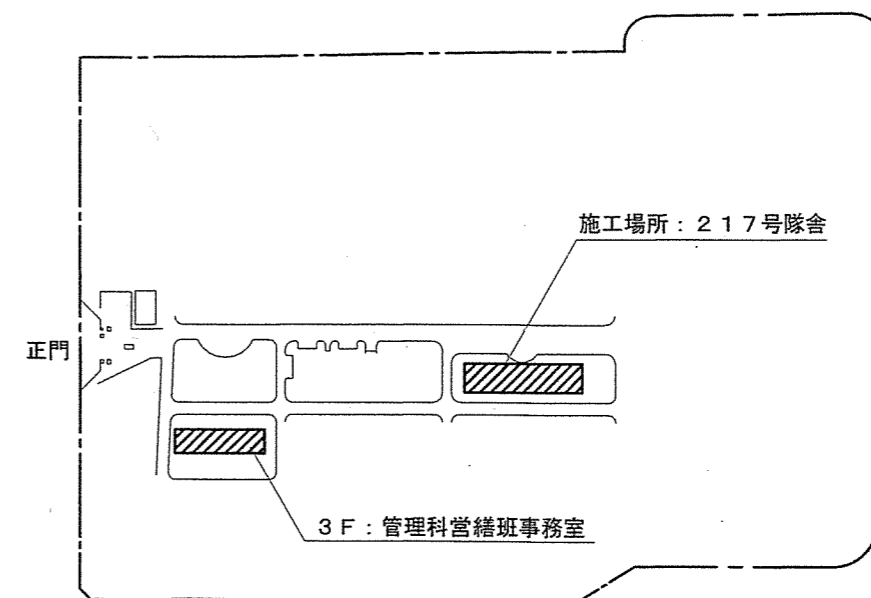
(7) 高さ1.5m、忍び返し付とする。

(4) 金網は、JISG3552完全式菱形金網とし、400g亜鉛めっき鉄線φ3.2×56とする。

(7) 柱、胴縁、網張りバーの外装はJISH8641（溶融亜鉛めっき）に示すHDZ40、ジョイント、ボルト・ナットはHDZ35を標準とする。

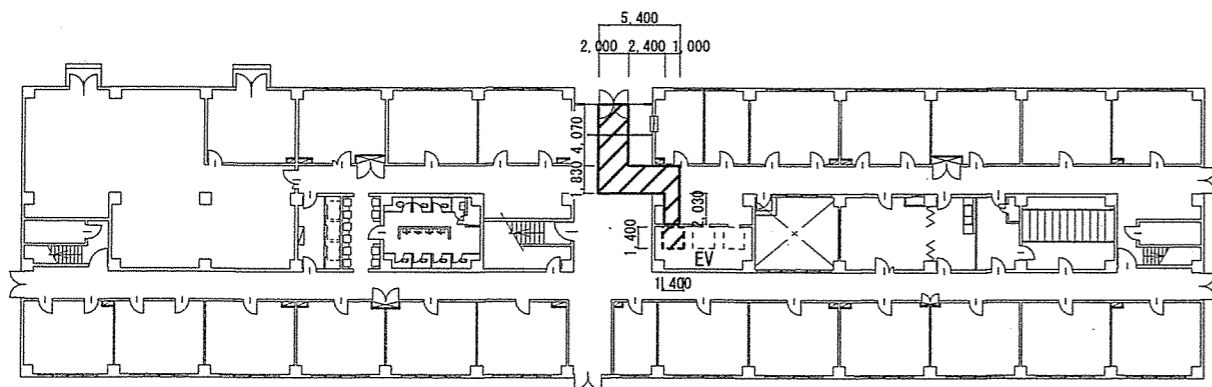


案内図 S=1/30000

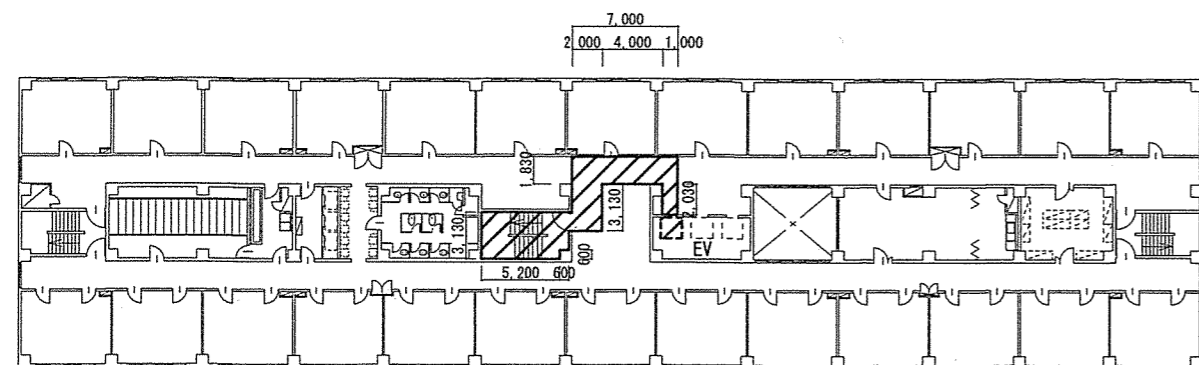


配置図 S=1/5000

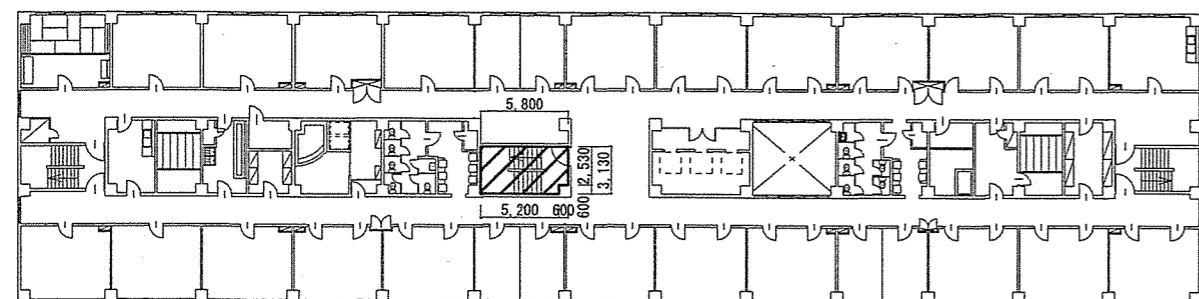
名 称	217号隊舎屋上物干場改修工事	図面番号	2/6
図面名称	仕様書・案内図・配置図	縮 尺	図 示
陸上自衛隊久留米駐屯地業務隊管理科		令和3年7月26日	




217号隊舎1階平面図 1/500

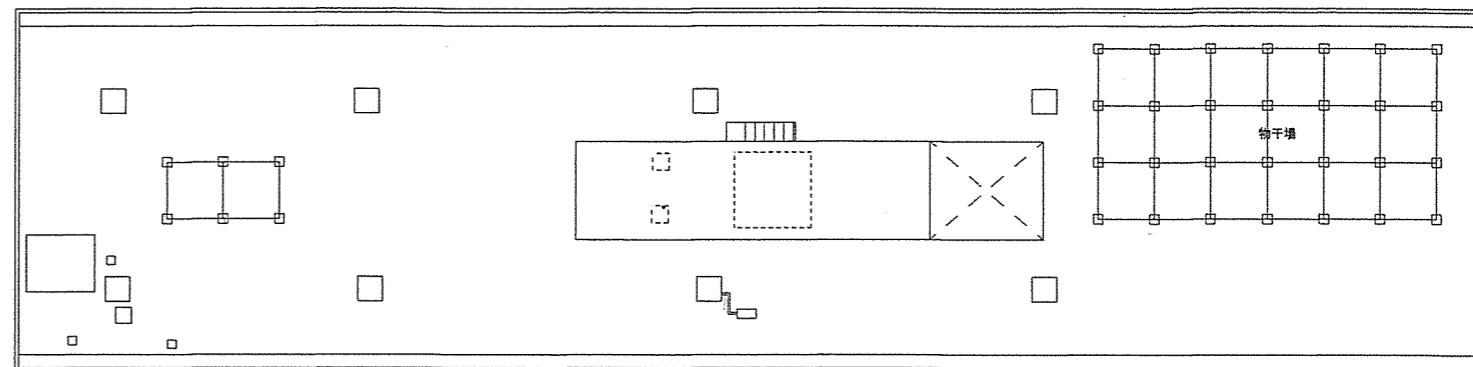


217号隊舎5階平面図 1/500

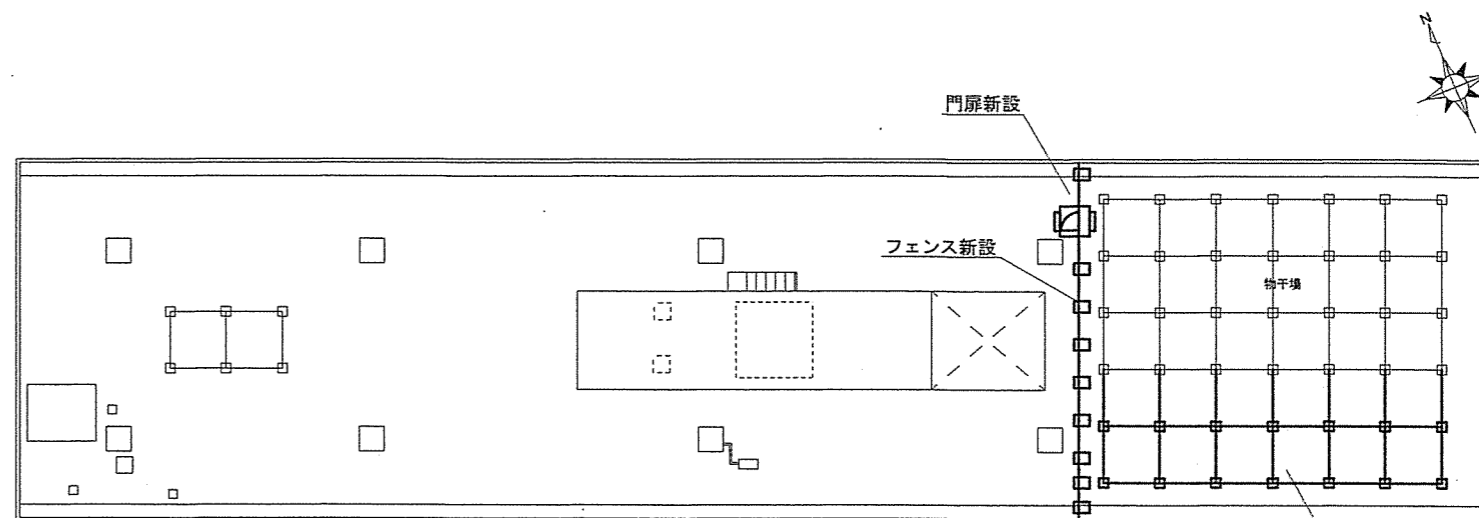


217号隊舎6~8階平面図 1/500

凡例  
 : 作業用通路 (養生等の範囲については受注者計画とする)

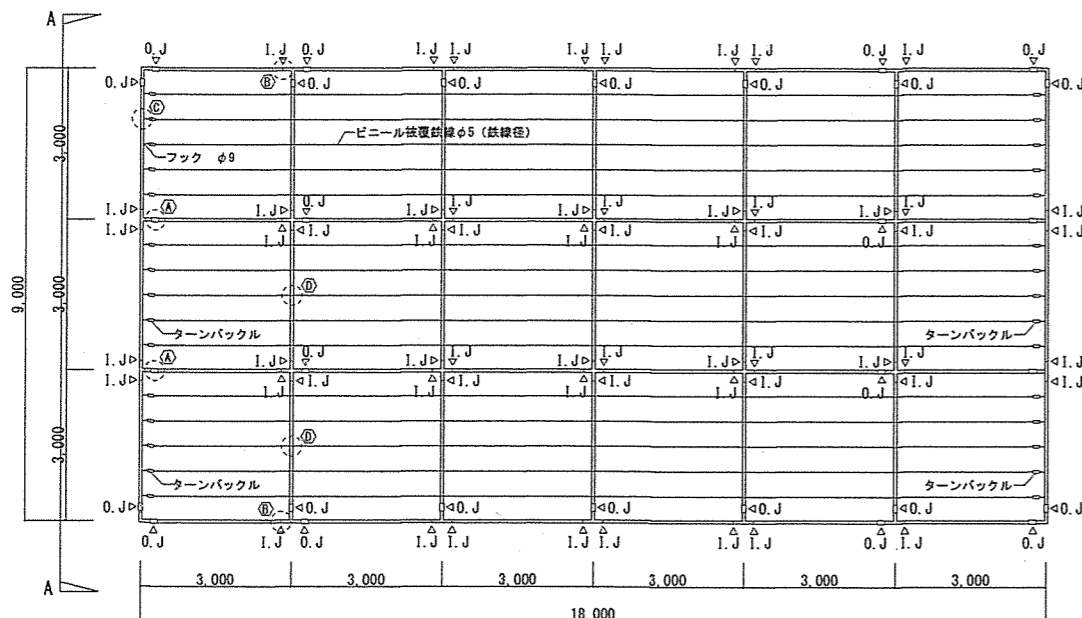


217号隊舎屋上改修前平面図 1/400

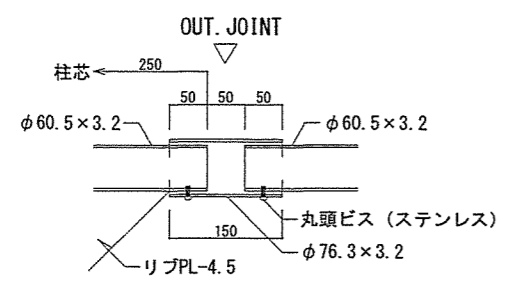


217号隊舎屋上改修後平面図 1/400

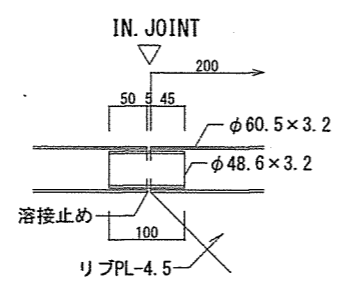
名称	217号隊舎屋上物干場改修工事	図面番号	3/6
図面名称	平面図	縮尺	図示
陸上自衛隊久留米駐屯地業務隊管理科		令和3年7月26日	



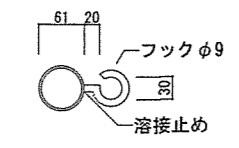
改修前物干場平面図 S=1/150



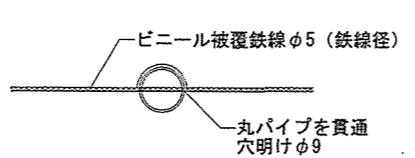
(A) 部詳細図



(B) 部詳細図



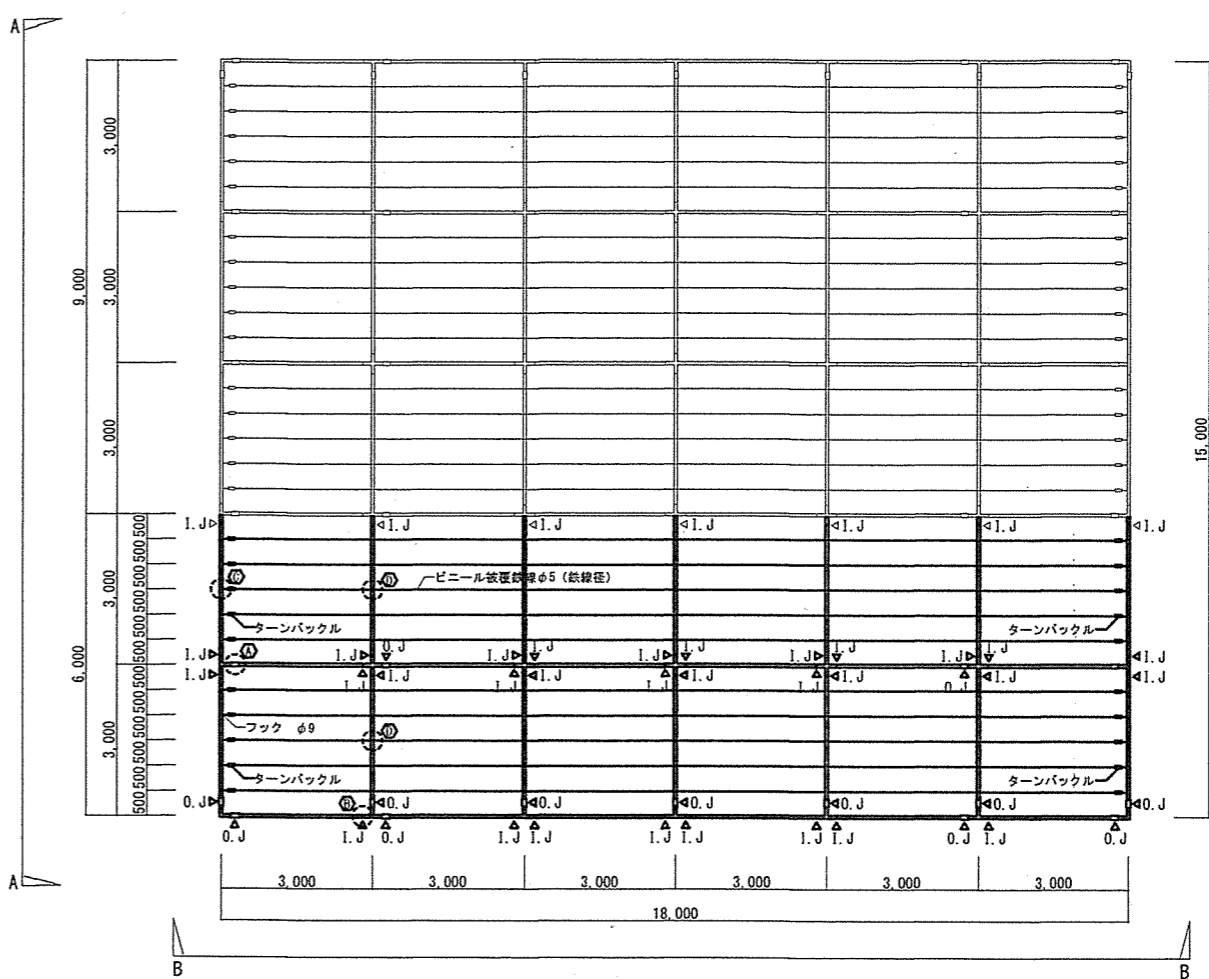
(C) 部詳細図



(D) 部詳細図

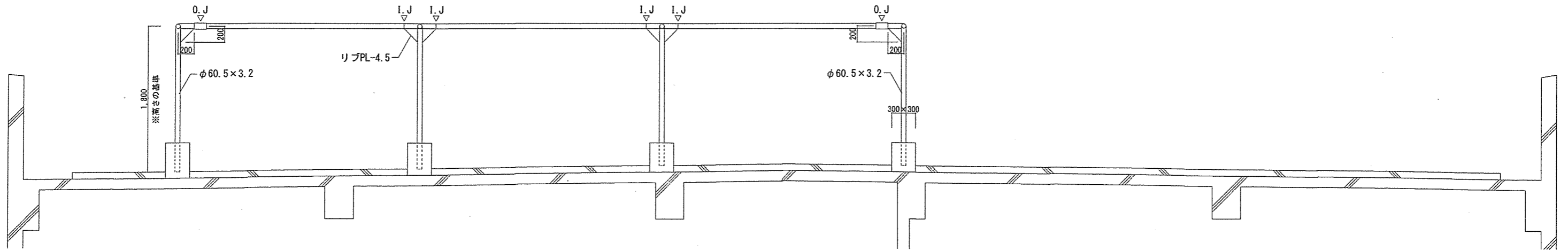
各部詳細図 S=1/10

- 備考
1. 鋼管は一般構造用炭素鋼管 (STK-41) を使用
  2. 鋼管端部小口はPL-3.2にて閉塞する。
  3. 鋼管及びその他金物類は全て溶融亜鉛メッキ (B種) とする。(管内外共)
  4. ターンバックルは1スパンおきとする。

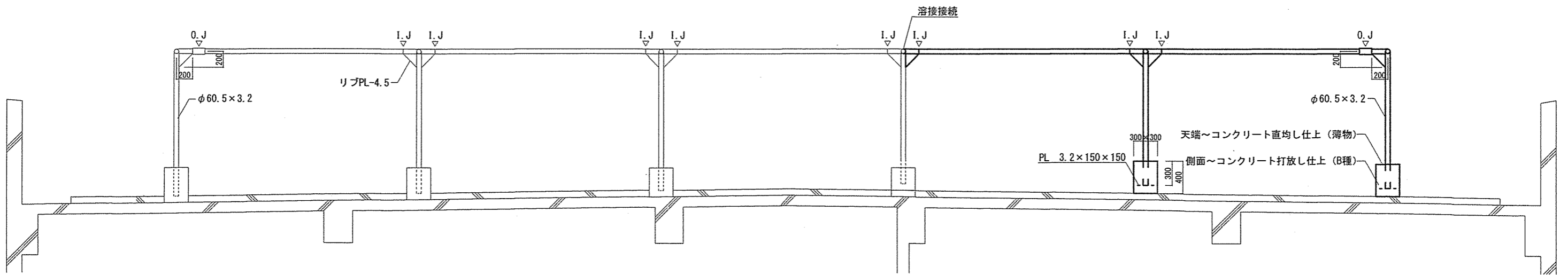


改修後物干場平面図 S=1/150 ※太線は新設を示す

名称	217号隊舎屋上物干場改修工事	図面番号	4/6
図面名称	物干場平面図・各部詳細図	縮尺	図示
陸上自衛隊久留米駐屯地業務隊管理科		令和3年7月26日	

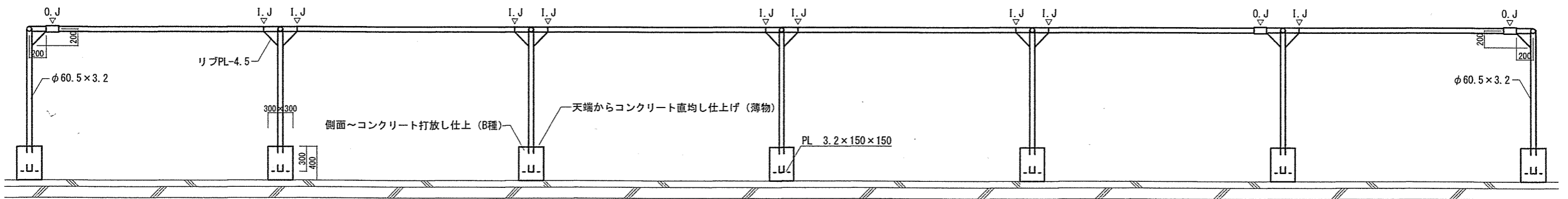


改修前物干場A-A立面図 S=1/50



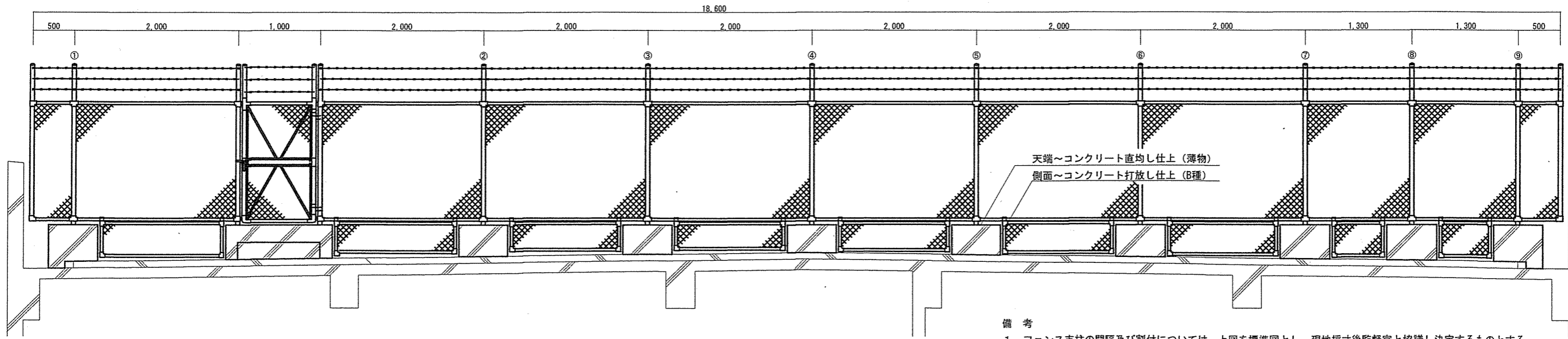
改修後干場A-A立面図 S=1/50 ※太線は新設を示す

備考  
基礎コンクリートは、無筋コンクリートとする。



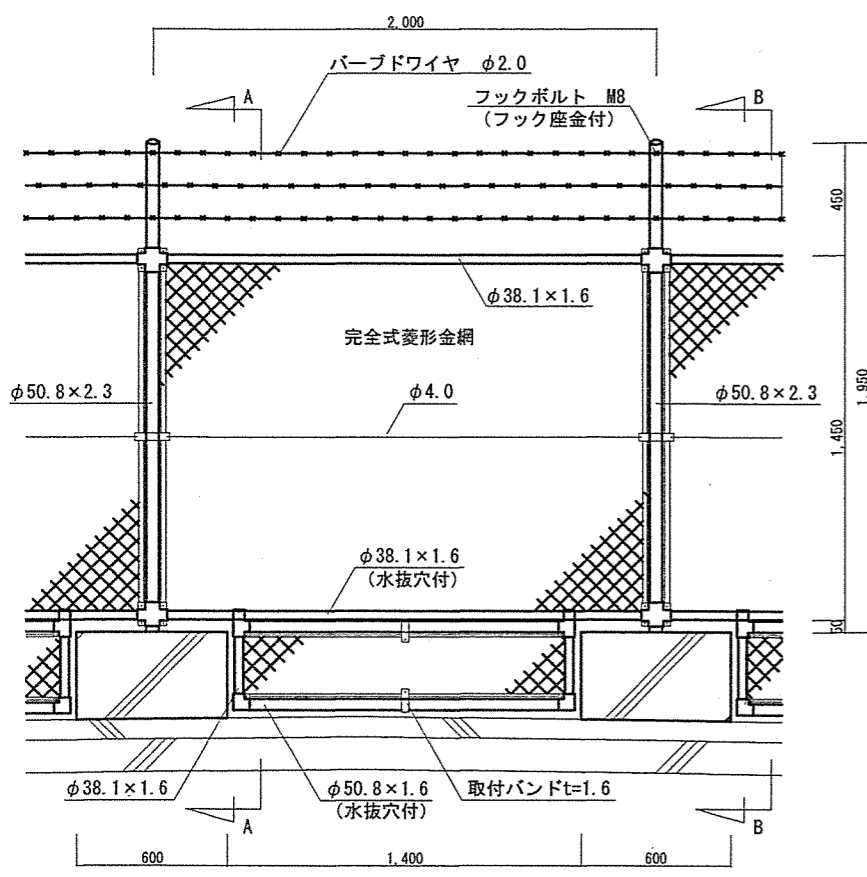
改修後物干場B-B立面図 S=1/50 ※太線は新設を示す

名称	217号隊舎屋上物干場改修工事	図面番号	5/6
図面名称	物干場立面図	縮尺	1/50
陸上自衛隊久留米駐屯地業務隊管理科		令和3年7月26日	

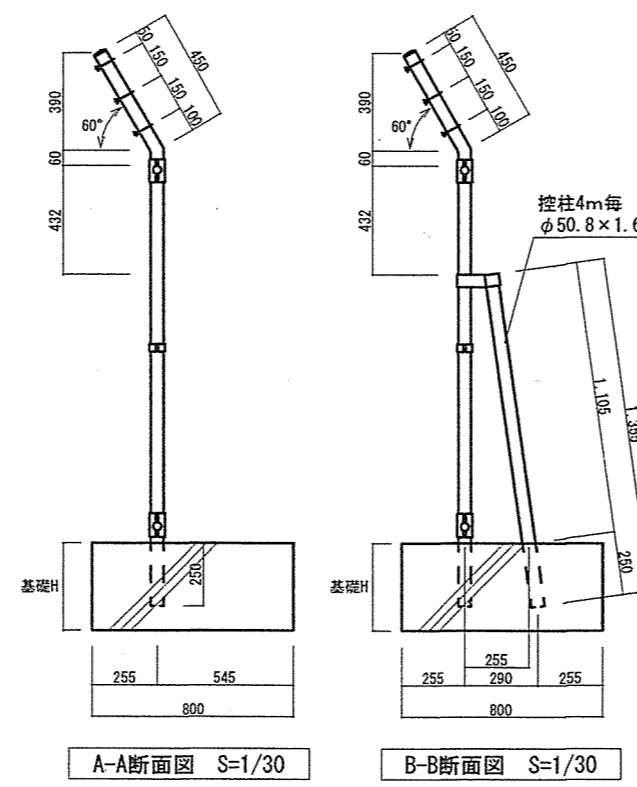


フェンス立面図 S=1/50

備考  
1. フェンス支柱の間隔及び割付については、上図を標準図とし、現地採寸後監督官と協議し決定するものとする。  
2. 基礎寸法については、使用するフェンスに基づき風圧力等の計算を実施後決定するものとする。

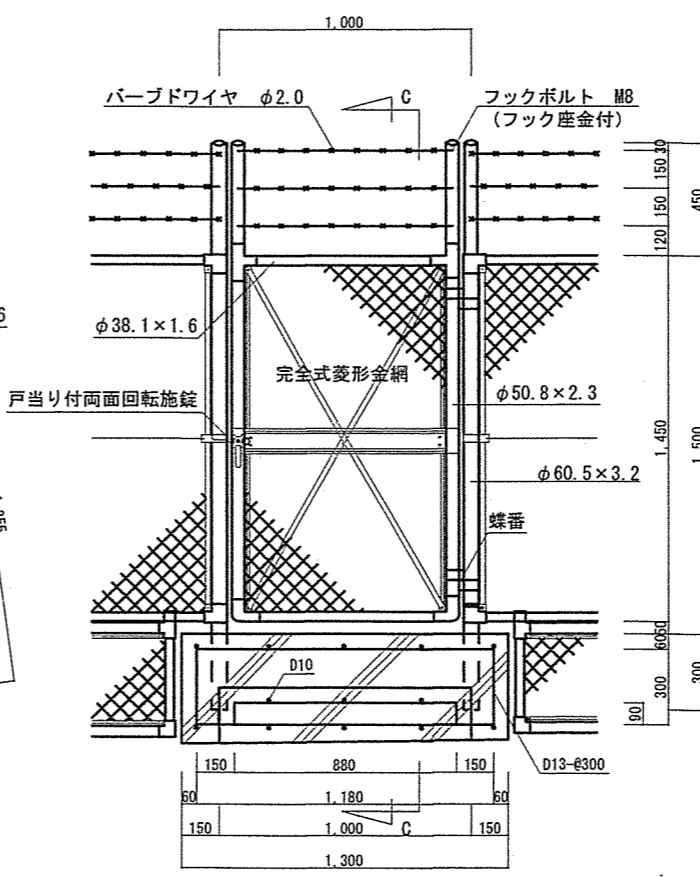


フェンス詳細図 S=1/30

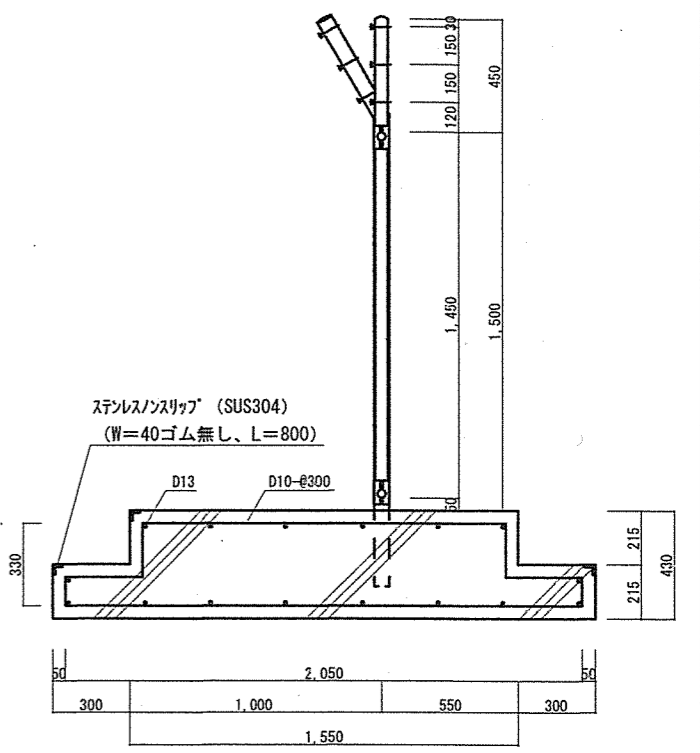


A-A断面図 S=1/30

B-B断面図 S=1/30



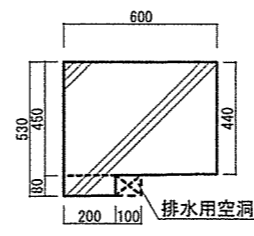
片開き門扉詳細図 S=1/30



C-C断面図 S=1/30

※基礎高さ、控え柱の設置位置については下表のとおり

フェンス支柱番号	フェンス基礎寸法			控え柱
	長辺×短辺	中心高さ	体積(m <sup>3</sup> )	
①	800×600	右図参照	0.23	○
②		380	0.18	○
③		360	0.17	○
④		340	0.16	○
⑤		360	0.17	○
⑥		390	0.19	○
⑦		410	0.20	○
⑧		430	0.21	○
⑨		右図参照	0.23	○



端部フェンス基礎詳細立面図 S=1/30

備考  
1. フェンス及び門扉の外装は金網類及びバーブドワイヤを除く他は、溶融亜鉛めっきとする。  
2. フェンスの金網規格はφ3.2×56mmとする。

名称	217号隊舎屋上物干場改修工事	図面番号	6/6
図面名称	フェンス立面図・フェンス詳細図・門扉詳細図	縮尺	図示
陸上自衛隊久留米駐屯地業務隊管理科		令和3年7月26日	